



# 東稲ニュース

第103号

早稲田大学校友会東久留米稲門会

平成30年 11月10日発行  
発行責任者 高橋 哲男  
編集責任者 小山田朋樹  
E-mail:bente-takahashi@jcom.home.ne.jp  
http://higashikurume-toumonkai.com/  
事務局 大矢 真弘 Tel042-475-8532

## 恒例 『秋の旨いもの会』 開催

10月20日(土)、爽やかな秋空に恵まれ、秋の旨いもの会が成美教育文化会館3階大研修室にて開催されました。奥様同伴を含め30名の会員が集い、差し入れのお酒や、果物、美味しい料理を堪能致しました。本会に奥様同伴は良いものですね。

参加された会員は日頃の無沙汰を詫びながら、酔うほどに懇親の場は盛り上がりました。最後は校歌斉唱で無事終了致しました。部活動では、よくお会いする方も多いかと思いますが、会員全員が参加する機会は4月の総会、1月の新年会と本会だけです。来年の新年会も決まりましたので、懇親の場に奮ってご参加下さい。 小野 泰右 記



高橋会長の挨拶と乾杯でスタート



小野実行委員長



奥様同伴で参加の横田幹事



テーブルに並ぶ、美味しそうな料理の数々



別処・大島コンビによる校歌とエール

## 会の告知板

### 【部会予定】

11月11日(日)~12日(月)	旅行同好会「湯田中・渋温泉郷金具屋に泊まる旅」	07:30	東久留米市役所前 ＜熊谷ゴルフクラブ＞
11月19日(月)	ゴルフ部会「三田会合同コンペ」		
11月23日(祝)	ラグビー観戦部会「早慶戦」	14:00	秩父宮ラグビー場 ＜秩父 越後屋旅館＞
11月24日(土)~25日(日)	囲碁部会合宿		
11月26日(月)	ウォーキング&山歩き部会第69回「高尾山~小仏峠」	07:40	東久留米駅改札口
11月29日(木)	女性サークル「ランチ会」	11:30	花つづみ
11月29日(木)	映画鑑賞会 第62回「道」	14:00	成美教育文化会館
12月2日(日)	ラグビー観戦部会「早明戦」	14:00	秩父宮ラグビー場
12月2日(日)	第4回役員会	16:00	生涯学習センター
12月2日(日)	歴代会長/部会長/役員忘年会	18:00	夜来香
12月9日(日)	書道部小作品展	14:00	生涯学習センター
12月10日(月)	ウォーキング番外編「甲州街道を歩く」第12回		東久留米駅改札口
12月25日(火)	カラオケ部会「カラオケを楽しむ会」	18:30	オンチッチ
1月19日(土)	東久留米稲門会新年会	13:30	成美教育文化会館
1月19日(土)	諸芸術鑑賞部会「ニューイヤーコンサート」	17:00	練馬文化センター
2月4日(月)	ウォーキング&山歩き部会 第70回「宝登山で嶺梅鑑賞」		＜詳細未定＞
2月28日(木)	映画鑑賞会 第63回(作品未定)	14:00	成美教育文化会館
4月21日(日)	東久留米稲門会第25回定時総会		成美教育文化会館

### 【大学・校友会関係】

11月10日(土)	東村山稲門会総会	サパルネ・コンパニオンホール
12月1日(土)	商議員フォーラム	大隈講堂



### ＜各部会定例活動一覧＞

部会	11月				12月			
	日	曜	時間	場所	日	曜	時間	場所
女性サークル	29	木	11:30~	ランチ会「花つづみ」	12月はお休み			
書道	11	日	13:00~	西部地域センター	9	日	13:00~	生涯学習センター
俳句	18	日	13:00~	生涯学習センター	16	日	13:00~	生涯学習センター
囲碁	24日~25日			秩父合宿	23	日	13:00~	成美教育文化会館
太極拳	3	土	10:00~12:00	成美教育文化会館	1	土	10:00~12:00	成美教育文化会館
	10	土	10:00~12:00	成美教育文化会館	8	土	10:00~12:00	成美教育文化会館
	17	土	10:00~12:00	成美教育文化会館	15	土	10:00~12:00	成美教育文化会館
バドミントン	毎週金 23日休み		10:30~	東久留米スポーツセンター	毎週金		10:30~	東久留米スポーツセンター

## 会の報告

◎役員会報告 平成30年度第3回役員会が10月7日(日)16時より生涯学習センターで開催された。  
＜議事録概要＞

高橋会長から開会の挨拶の後、議事に入った。

#### 1. 大学・校友会・近隣稲門会・三田会関係

- |              |           |                 |                    |
|--------------|-----------|-----------------|--------------------|
| (1) 三多摩会長会   | 8月19日(日)  | 調布レストホテル        | 高橋・大矢              |
| (2) 早大 代議員会  | 9月29日(土)  | 大隈講堂            | 小山田・山口             |
| (3) 稲門祭実行委員会 | 10月 3日(水) | 早稲田大学           | 山口・中村              |
| (4) 小平稲門会総会  | 10月13日(土) | ルネ小平            | 村野・大矢              |
| (5) 稲門祭      | 10月21日(日) | 早稲田大学           | 中村・山口・高橋・小野        |
| (6) 三多摩支部総会  | 10月27日(土) | 大隈講堂            | 高橋・村野・小山田・山岡・山口・大矢 |
| (7) 東村山稲門会総会 | 11月10日(土) | サパルネ・コンベンションホール | 高橋・山岡              |



#### 2. 秋の旨いもの会

- (1) 日 時：10月20日(日)14:00~16:00 (2) 場 所：「成美教育会館」3階大研修室  
(3) 案内者：会員並びに市内在住の20代~40代(約130名)の校友  
(4) 参加予定者：10月1日現在：33名(若手校友の参加者は2名)

#### 3. 会長・部会長・役員忘年会 <12月の役員会当日>

- (1) 日 時：12月2日(日)18:00~ (2) 場 所：「夜来香」042-420-5795  
(3) 会 費：5,000円

#### 4. 新年会

- (1) 日 時：平成31年1月19日(土)13:30~ (2) 場 所：成美教育会館3階 大研修室  
(3) その他：アトラクションはビンゴゲームを行う。

#### 5. 平成31年度定期総会

- (1) 日 時：平成31年4月21日(日) (2) 場 所：成美教育会館1階ギャラリー、3階大研修室  
(3) 講演者の件：当会役員の横田治彦氏に依頼する。演題は地震・防災に関する内容になる予定。

#### 6. 会費納入状況等

9月12日現在 納付者147名(予算計画155名、昨年度納付者148名)

#### 7. 広報関係

- (1) 東稲ニュースー記事の募集、印刷日時等 原稿締切：10月25日(木)  
印刷日：11月9日(金) 17:00~ 生涯学習センター印刷室

#### 8. 組織強化補助金20万円の申請について

- (1) 稲門祭記念品購入の目標は達成済み  
(2) 稲門祭へふるさと賞の寄付(柳久保うどん3箱20袋入り)  
(3) 体育関係部への寄付5万円 ⇒ 今年度はアーチェリー部とした。  
(4) 若手校友の招待 ⇒ 秋の旨いもの会へ、9月のポストマンで案内済み



#### 9. その他

- (1) 今後の役員会：12/2(日)・2/3(日)・4/7(日)  
(2) 卒業後60年の会員への記念品等の件 ⇒ 今年度中に購入するが、内容等は今後検討する。  
(3) 映画鑑賞会 ①9月27日(木) アルフレッド・ヒッチコック監督「サイコ」、  
②11月29日(木) フェデリコ・フェリーニ監督「道」を上映する。  
(4) 結婚相談室「いなほ会」の件 ⇒ 担当者等の件は後日検討する。

#### 10. サークル・部会関係

#### ○校友会代議員会

9月29日(土)16時より、大隈講堂にて定例の秋季代議員会が開催された。開会にあたり校友会会長である鎌田総長から挨拶があった。先日の総長選挙で新たに田中愛治政経学院教授が11月から総長に就任することになり、代議員会でのあいさつは今回が最後となり、やはり少し寂しげであった。任期



---

中には‘Waseda Vision 150’を策定し、グローバルリーダーの育成、独創的な研究の推進、教育、研究の質の向上、社会貢献、大学経営基盤の強化に取り組み、一定の評価を得て成果を上げつつあった。田中新総長も引き続き‘Waseda Vision 150’の目標達成に向け課題に取り組むとのこと。

議題としては例年通り、2017年度決算の承認、推薦校友の承認等の他、今回は10年間代表幹事を務めてきた福田秋秀氏が退任することになり、新たに萬代晃副代表幹事が代表幹事となることが承認された。鎌田会長(総長)、福田代表幹事と、校友会のトップ二人ともが今回交代ということになり、校友会も新たなステージに移行することとなった。

議事終了後、大隈ガーデンハウスにて懇親会となり、全国から集まった代議員たちと交流を深めた。

小山田朋樹 記

#### ○小平稲門会第30回記念総会

10月13日(土)11時より、小平市民文化会館「ルネ小平」・レセプションホールで、小平稲門会第30回記念総会が開催され、大矢事務局長とともに参列した。総会は三部構成で参加者は来賓28名、会員79名、招待(市内在住学生・留学生・早稲田祭運営スタッフ)6名、アトラクション2名の合計115名であった。

第一部の総会は約1時間、平成30年度活動報告では、会員増強・組織活性化活動で新会員募集ビラを50歳～70歳あてに525名配布し、そのうち60～70歳の201名は戸別訪問した結果、入会者が10名あったこと(会員数は現在160名)、そして地域貢献活動として二つの小学校にゲストティーチャーを派遣したことなどが印象に残った。また2019年度活動計画(2018年10月1日～2019年9月30日)では、総会に先立つ1週間前10月6日(土)に、創立30年記念イベント「吹奏楽の夕べ」が早稲田吹奏楽団と小平六中のコラボレーションで行われ盛会であったこと、記念誌の発行を2019年8月に予定しているとのこと。役員は栗原会長、大島幹事長が再任され、新任4名を含め26名が選任された。(別に顧問7名) 来賓祝辞は早稲田大学校友会常任幹事 大島正敬氏、小平市長 小林正則氏、第2部は早稲田大学出身の柳亭こみち、古今亭志ん吉のふたりの落語、第3部の懇親会は市議会議長、地域担当副部長の祝辞の後、三多摩支部支部長の乾杯で始まり15時に終了した。

村野 建彦 記

#### ○2018稲門祭 ホームカミングデー

10月21日(日)早稲田大学校友会の最大イベント稲門祭が大隈講堂をメイン会場に開催されました。今年のテーマは「WASEDA DNA わたしたちには同じ血が流れている」でした。

昨年は雨に祟られて人出もやや少ない印象でしたが、今年は好天に恵まれ来場者も多く大隈銅像辺りは人また人という盛況ぶりでした。大隈講堂、大隈庭園他各所で実に様々な催し物があり、とても回りきれない程です。模擬店も多く、食べて・飲んで・歩いて・観て・聴いてと半日全く退屈する事なく過ごせました。

私事ですが、卒業後45年のホームカミングデーで卒業以来というメンバーも集まり楽しい一時を過ごしました。夕刻高田馬場に所を移して「俺、お前」で痛飲した次第です。皆様に現場の雰囲気をお伝え出来ない自分の筆力をもどかしく思います。来年は是非会場にお運び戴きたいと存じます。

尚、記念品を購入された方を対象に福引き抽選会が行われ、当会での当選は13本でした。詳細は「東稲広報室」に記載してあります。

山口 謙二 記

#### ○早稲田大学校友会東京三多摩支部大会

平成30年10月27日(土)午後2時より、早稲田大学大隈記念講堂で東京三多摩支部大会が開催された。三部構成で、第1部を除く参加人数は190名。当会からは、村野副会長、小山田副会長、山岡副会長、大矢事務局長、山口事務局次長、高橋の6名が出席した。

第一部は、ドリアン助川原作の「あん」の上映で、先日ご逝去された樹木希林さんの演技に感服した。



鎌田総長と記念撮影

第二部は、式典で鎌田薫総長より、これまでのお礼と実績の挨拶、学生50人位以下の学級数85%、20人以下の学級数50%、女子学生38%の話については、隔世の感がある。つぎに萬代晃新校友会代表幹事より、新任の挨拶と今後の協力依頼、以下活動報告、アーリーナ募金を贈呈して閉会した。早いもので2020年度は、当会、東村山、清瀬が東京三多摩支部担当になる。

第三部の懇親会は、大隈ガーデンハウスにて開催され、鎌田現総長は府中市居住、田中次期総長は、武蔵野市居住等三多摩支部は、大学との関わりが強いこと等が話題になり、午後7時前に閉会となった。高橋 哲男 記

## 部会報告

### <太極拳部会> 9月22日(土) 太極拳部会創立17周年記念パーティ

太極拳部会の創立17周年記念パーティーを開催しました。9月22日(土)成美教育文化会館です。本会は、平成13年(2001年)9月1日東久留米市役所の市民ホールで第1回目の稽古を行いました。書道部の会員が中心となり多くの会員が集まりスタートしました。いよいよ18年目に突入することになります。歴代会長をはじめ会員の皆様、一般市民の方々に支えられながらの17年でした。



太極拳の集い17周年記念パーティの集まったメンバー

この日午前10時から通常通りの稽古をこなし、12時から参加者全員(17名)の協力を得てパーティー会場の設営、多くの参加者より沢山の差し入れを頂き、元気にスタート。部会長挨拶、稲門会高橋会長より早稲田大学の現況報告を頂き松崎会員によるパーティー開幕の乾杯のご発声、松崎さんは本会最古参である由、古くは本場中国へ渡っての厳しい連合稽古の様子などご披露いただきました。また鮎貝前部会長より本会の歴史を丁寧にお話頂きました。中でも創立当時の稽古場の獲得のご苦労、部会崩壊事件と稲門会あげての立て直しにむけての合力の様子、技術習得・健康増進をめざしての研究・努力の様子など苦労あり、楽しみありの17年間を語っていただきました。その後皆さんから寄せられたご馳走とうまい寿司・酒を飲みながら大いに語り楽しい時間を過ごしました。「楽しく、健康増進に役立つ太極拳」をめざして今後の活動をして参ります。 ” 皆さん奮ってご参加あれ ” 渡辺 真司 記



＜書道部会＞ 久家政裕様の書道作品個展（条幅＝掛け軸 30 点）

9月9日(日)スペース 105にて久家さんの書道作品展を開催しました。久家さんは稲門会発足当時から会の文化活動の発展に尽力されました。就中、趣味の書道部会では絶え間ない真摯な態度で自己研鑽され、書道部会の発展に貢献されました。私達書道部員はその功績を讃える意味で久家さんの20年に亘る書道人生の軌跡を披歴すべく久家さんの書道作品展を開催することにしました。



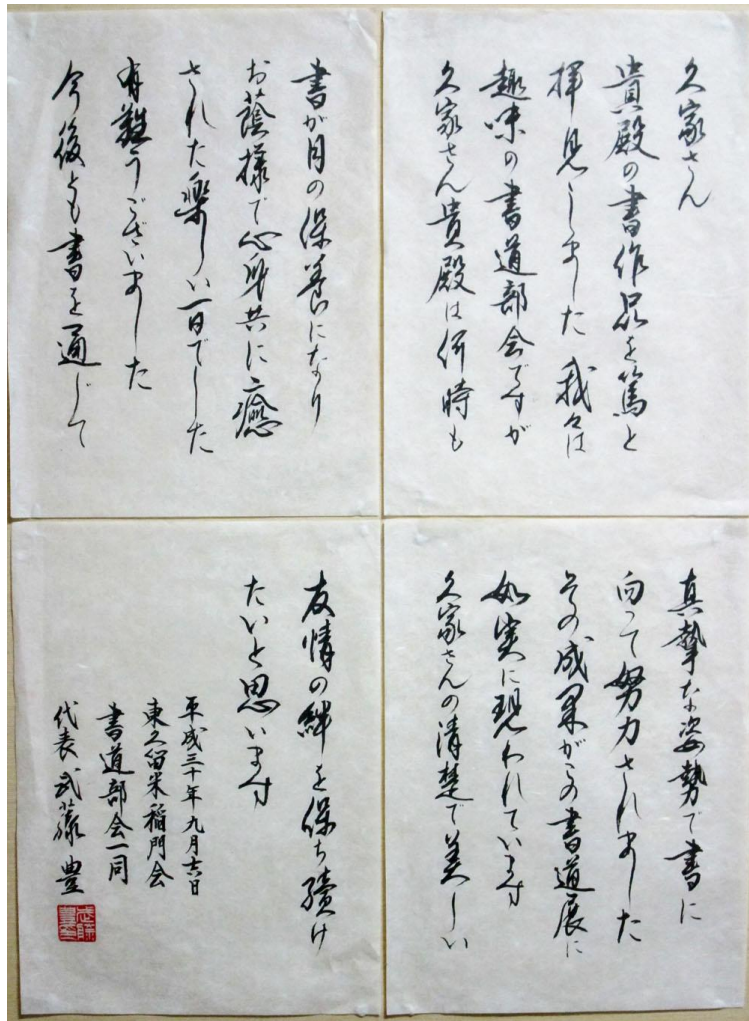
上：作品群の前の久家さん

下：個展に参集した会員・書道部会メンバーと記念撮影





個展の会場風景 沢山の会員が来場、皆、久家さんの書に感激



今回の個展では、書道作品30点が出品され、中国先人の古典を中心にした臨書他独自の書を披歴される等、背筋が伸びる感じの清々しい書展でした。

久家さんは喉頭癌で声帯を失われ、また胃癌を患られる等の中での書道個展でした。まさに30点の条幅(掛け軸)は久家さんの本来の気高さもあって、書に対する意欲が人生の生き甲斐とも思われました。

以前、久家さんは「生ある限り書きます、皆さんと一緒に頑張ります・・・武藤先生宜しく」と綺麗な字で書いて見せられたメモを読んだ時は涙が出る思いでした。

武藤 豊 記

## <ウォーキング&山歩き部会>

### 『甲州街道を歩く』第9回(9月10日) JR 笹子駅→新田下→笹子峠→JR 甲斐大和

笹子峠(標高 1,096m)は、甲州街道の江戸と下諏訪のほぼ中間の、黒野田宿と駒飼宿の間にあり、同街道の最大の難所と言われた。

【参考】甲州街道は、大正9年の旧道路法では大月から富士吉田を經由して御坂峠越えとなったが、昭和13年に峠の頂上のほぼ真下を貫く笹子隧道(全長:240m)が開通し、昭和27年の新道路法制定に伴い、国道20号として、御坂峠越えから再び笹子峠越えに変更された。昭和33年には新笹子隧道(トンネル)(全長:2,953m)が開通したことで、国道20号は笹子峠道を通らなくなり、峠道は県道日影笹子線とされた。

猛暑が漸く去った曇り空の下、総勢12名(男7、女5)は、街道の最難関に挑む思いを胸に、JR 笹子駅から午前中1本しかないバスで新田下停留所に降り立った。笹子隧道に繋がる道は、今では通る車も殆どないが、狭いながらも舗装され整備されている。往事の甲州街道はこれとは別に、杉林の峠道として残っており、所々に倒木や道端の崩れもある坂道が続く、忘れられた感が否めない佇まいであった。我々は足拵えをしっかりと山道に臨んだが、江戸時代の草鞋掛けの旅人は苦労したであろうことが偲ばれる難路であった。



笹子峠頂上付近

途中、出陣の武者が矢を射立てて武運長久を祈ったという「矢立の杉」(山梨県指定天然記念物)で一服。笹子隧道入口付近で県道を横切り、熊出没の看板に、「誰が一番美味そうか」と軽口を叩きながら隧道の真上を目指して急坂を登ると、谷道となったところに笹子峠の道標が建っていた。両側の崖が迫る狭い道端の斜面を背にして、昼食をとりながら、甲州街道ウォーキングの初志成就が手の届く場所に近づいた感を強くした。

峠を越えると、長い下り坂が続いていた。先の台風による傷跡、倒木とがけ崩れで迂回を余儀なくされることもあったが、舗装道路の県道に合流し楽な歩行に移行した頃から、予報よりも早い雨に見舞われた。駒飼宿跡を過ぎる頃には本降りとなり、漸くこの日の目的地甲斐大和駅に辿り着いた。参加者全員が、終結時の雨を忘れさせてくれる、大きな達成感に包まれていた。

東久留米に戻り、全員が参加して笹子峠越え達成の祝杯を挙げた。

【参考】鉄道トンネル(中央本線) :

1903年(明治36年)2月 大月-初鹿野(現・甲斐大和)間片側通行開業

1966年(昭和41年)12月新笹子トンネル開通、従来の笹子トンネルは下り列車専用、新笹子トンネルは上り列車専用となった。

### 『甲州街道を歩く』第10回(10月15日) JR 甲斐大和駅→勝沼→JR 石和温泉駅

朝方は少し肌寒さを感じたが、最高気温22℃、曇り空という絶好の天候の中、総勢10名(男5、女5)は、難関であった笹子峠越えを思い出しながら、中央本線笹子トンネルを過ぎて、甲斐大和駅に降り立った。この日の行程は、前半の長いなだらかな下り坂の後は平坦な道、自動車道路脇の歩道であり、歩く負荷は軽いものの、全行程17kmを超えるこれまでの最長である。

駅から少し歩いて国道20号に出ると直ぐに鶴瀬から甲州街道となる。広い自動車道路の歩道を行くと、鶴瀬関所跡、鶴瀬宿跡を示す看板を過ぎる。谷の向かい側斜面に中央高速道を高速で走る自動車を見ながら、歩道に沢山落ちていた胡桃の実を拾ったりして進んでいる内に、柏尾古戦場跡とその主役近藤勇像に行き会った。慶応4年(1868)、官軍に1時間で粉砕された戦いがこの地で行われたことを知り、幕末の動乱を垣間見た思いがした。この先500mを進み、「ぶどう寺」として有名な大善寺に着いた。養老2年(718)、行基がこの地で修業し、満願の日に右手にブドウを持った薬師如来が現れ、以来この地で





勝沼氏館跡にて

ブドウは法薬として広く栽培されるようになったという。

甲州街道は、柏尾の交差点で20号線と別れ、県道38号となって勝沼を進む。道の両側は全てブドウ畑で、道に面してブドウ狩りと販売店が数キロに亘って続いていた。途中、武田信玄の伯父信友の家系である勝沼氏の館跡を訪れた。勝沼を一望する高台に、堀跡と発掘された屋敷跡が公園となっていた。広々とした公園に我々しか居ない、ゆったりとした気分の中でとった昼食は美味であった。

殆ど店舗もないという町筋に、古民家を利用した「ほうとう店皆吉」があった。昼食時とは言え平日にも拘わらず行列をなしており、機会があれば訪れてみたいと思ったものである。この店のある等々力から国道411号となった。平坦なかなりの距離を日川に沿って進み、日川橋を渡ってこの地方での大河、笛吹川沿いの道、甲州桃太郎街道に出て更に進む。笛吹橋を渡ると、昭和36年ブドウ畑に突然湧き出した石和温泉郷の東入口であり、漸くこの日のゴールが見えてきた。

近くの川沿いに、笛吹川の名の由来となった「笛吹権三郎像」があった。600年程前のこと、洪水で



笛吹権三郎像の前で

話が綴られていた。この小さな公園で、ゴールまでの最後歩きに備えて休憩をとり、歩みを再開。16kmを過ぎて誰もが疲れを否めなくなっていた頃、折しも石和温泉駅まで1kmの地に足湯があり、短い時間ではあったが、脚を温泉に浸すことによる解放感が疲れを癒してくれた。石和温泉駅からは、初めての特急「かいじ」で帰路についた。



## ウォーキング&山歩き (第 68 回) 9 月 24 日 高麗峠(こまとうげ)、巾着田の彼岸花鑑賞

休日で色々お忙しいせい、今回はご婦人の参加がないこれ迄で初めてのケースとなった男所帯総勢 11 名。秋分の日にふさわしい天候に恵まれて、飯能駅を 10:30 に出発。30 分程歩いて、市街地を抜けて天覧山の麓の能仁寺の脇を通り、国道 299 号線に突き当たって、武蔵丘ゴルフの入口と並んだ奥武蔵自然遊歩道の入り口に着いた。

ここからは、林の中のなだらかな登り坂を標高 177 m の高麗峠を目指して歩く。休日とあって、ハイキングの人達は多かったが、心地よい風が通う木陰の中、所々木々の間にゴルフ場のフェアウェイを覗かせる道は、快適な歩みを提供してくれた。自分が住まいする地の近くにこのような場所があれば、毎日散歩を楽しんで、人生を豊かに過ごすことが出来ると妄想したのは、筆者だけではないと思う。高麗峠は頂上という趣は全くない通過点という感じであったが、記念に集合写真をとった。ここから巾着田までは長い下り坂が続いたので、逆コースだと多少はシンドイ思いもすると思う内に、巾着田についた。途中、休憩もとったので、12:00 を回っていた。



高麗峠にて



巾着田にて

休日で、売り物の 5 百万本の彼岸花が盛り(多少盛りが過ぎている所もあったが)とあって、辺り一面を朱色で埋め尽くした広大な花畑を巡って、人が溢れていた。会場が多数用意したベンチやテントは満杯であり、我々は辛うじて脇の土手に隙間を見つけて昼食をとることにした。会場外の酒屋まで飲み物を買に行き、皆で乾杯したビールは、何と形容したら良いか、えも言われぬとは此の事であった。ここで、暫くの間、酒を飲みながら各自持参の昼食をとり、のんびりとした一時を楽しんだ。この後、改めて花畑を巡り、景色を朱色に染める彼岸花群生の威力を目の当たりにし、「仏教で曼珠沙華(まんじゅしゃげ)と呼ぶこの花の彼方に極楽への入り口があっても不思議でないという思いが掠めた」、というのはチョット大袈裟か。高麗駅から東久留米に帰り、駅前の焼き鳥屋で、恒例の打ち上げを行った。

東海 俊孝 記



<俳句部会>

第218回 9月16日(日) 兼題：運動会 秋の蝶 席題：居酒屋

高点句

吊橋を渡り終えたる秋の蝶	比護喜一郎
居酒屋の暖簾分け出て良夜かな	橘優治
きょうの風きのうの風や秋の蝶	杉本達夫

自選一句

運動会追うは我が子の姿のみ	三浦洋子
運動会親も子供も声嗄らす	安宅武一
居酒屋の隣の客もさんま焼き	馬場清彦
居酒屋の横柄な猫月天心	片平るみ
黒塀を行きつ戻りつ秋の蝶	川島知子
居酒屋や馴染みの友の席を獲る	神田尚計
分校の村人総出の運動会	大久保泰司
よたよたと墓碑の周りを秋の蝶	本間信一



第218回 10月21日(日) 兼題：案山子 秋の声 席題：青春

高点句

近寄ればもの言ひたげな案山子かな	片平るみ
小海線かかしの向かいは八ヶ岳	本間信一
この先は木曾と教えるかかしかな	神田尚計
失いしことば探せば秋の声	杉本達夫
エスエルの煙見送る案山子かな	橘優治

自選一句

手水舎の水の滴り秋の声	川島知子
振り向けばマネキン案山子田を守り	三浦洋子
青春や校歌歌えて秋日和	馬場清彦
夕暮れて古手拭いの遠案山子	比護喜一郎
我に似る故郷甲斐の案山子かな	大久保泰司



片平るみ記

<ラグビー観戦部会> ローマは一日にして成らずも、早稲田 RUGBY は半年で成るか・・・

3月11日 Oxford。暗闇から出てきた黒牛の風貌の相良新監督。岸岡をFBに配した新布陣。CTB13 桑山弟→WTB14 佐々木君で先制 TRY。試合は負けても相手は Oxford、幸先良い新シーズンとしておこう。

4月からの上井草は明るい雰囲気。主務の小柴君はいつも笑顔、函館ラサール卒の秀才。副務一宮沙紀チャンは WASEDA CLUB 育ち。RUGBY 部マネジャーになる目標があったから受験勉強頑張れた(父親談)。3年女子マネ安住、小泉さんは共に早大本庄3年生の時から上井草に来て当時の安藤マネに役務



心得を聞いていた自己推薦入部。小泉は国際教養の難関学部。安住は政経、将来は父の後釜で国会議員か？

練習は臼井学生トレーナー指導で準備運動。ピッチを縦に100m全力走、帰りも全力走。これを5、6回。そして村上コーチ指導でレスリング、タックル練習。若手コーチ大峰も学生と一緒に。最後は古庄HC指導でボールを持ってアタック&デフェンス。小針レフリーが裁く。今年は一年生の池田女子レフも加わる。小柄な体にレフリージャージと白パンツがポニーテールなびかせ走る姿、美しく可愛い。吉雄、長井非常勤コーチも時々。が黒牛氏と一緒に選手の動きを見ているだけ、まだ名前・特徴等把握してないのか。安藤敬介コーチが加わる。温和な顔でスクラム指導は可成りキツソウ。

練習試合は、勝っても良からう相手に負け、やばいだろうと思った相手にはやっぱり負けて、声を出して明るく練習している成果が出せてない。今年も人生暗そうだ。創部100周年だと云うのに。6月には三井コーチが加わる。小さい体に甲高い声で「ナイス、ナイス」と選手をのせる。瞬く間に春シーズン終了。「菅平合宿ではデフェンスをやります。」ボソッと黒牛氏。3か月間選手、部を見ていて思ったのであろう。この言葉を信じよう。

合宿明けシーズンに入って在来部員の進歩と新入部員が臆することないPlayを見せてくれることを期待して昭和病院への通院、入院、自宅療養に励むことにする。

8月18日、19日(菅平)月後れ盆後の土・日はOB集合日、そして強敵相手の試合が組まれる。ここ10年程は帝京。テレビ放送はない。少々頑張ってPCへ。「waseda rugby sokuhou」→「早稲田ラグビー試合速報掲示板 Tea Cup」にお世話になる。C、26:31 D、31:52 Cは1Try 差負けの健闘。19日(サニアパーク)A、28:14、ダブルスコアの勝利。信じられない何年ぶりの勝利。現地の友人にTEL。「普通に勝った感じだ」訳判らないこと言っている。「帝京留学生出ていた？」出ていたとのことだがメンバー相当変えたのだろうと一人ガッテン。B、24:31、1Try 1Goal 差の惜敗。A、B、C、Dの結果から帝京との差は確実に詰まった。翌週24日の東海戦C、47:5、B、56:21、A、21:28 これは東海の力が落ちたとみる。

9月対抗戦に突入。早稲田は苦手な筑波が第一戦の相手、それを物ともせず、本日までの戦績は9/9 vs 筑波 55:10、9/23 vs 成蹊 99:5、10/7 vs 青学 123:0、10/21 vs 日体 68:10、早稲田確実に力をつけていることを示している。大きいのはCTB13(長田 or 桑山弟)、WTB11&14(古賀 or 佐々木 or 桑山兄 or 梅津)、FB(川瀬 or 桑山兄 or 古賀 or 梅津)に個々の決定力があること。SH→SO→CTB 中野と渡ったボールは中野の突進力で真ん中をぶち抜いても良いが、防御2人引き付けてからCTB13以下にパスすればTryの方程式にはまる。

皆さんがこの記事をご覧になる頃には vs 帝京の結果が判明しているでしょうが、今年の大学RUGBY 番付です。

	東	西
<横綱>	帝京	明治
<張出横綱>	天理	
<大関>	早稲田	慶応



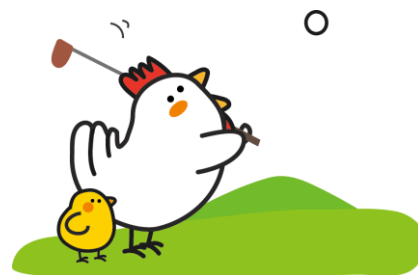
特注：5チームで一番スクラムに難があるのが早稲田。天理は関西で断トツ、留学生が強い。帝京は終盤まで競った試合をものにする勝負強さ一番。早稲田何年ぶりかで正月迎えられそうです。

2018年10月29日 藍原 昌義 記



## <ゴルフ部会> 10月22日(月) 「東久留米稲門会 秋のコンペ」

10月22日、初めての開催となるJゴルフ鶴ヶ島コースにて秋のコンペを開催しました。平子さん、清水さん、長東さんが体調不良で参加できませんでしたが10人の参加があり、秋晴れの良い天気で楽しくプレイできました。幹事金子の車が間違えて違うコースに行き同乗者を含む4人が開始時間に間に合わないという前代未聞のトラブルがあり、スタートもばらばらで写真をとることもできないし、表彰式も出来ませんでしたが、皆さんが対応してくれ無事終了できました。



結果は実力どおり上原さんがグロス85でベスグロ優勝、2位は久しぶりのゴルフだと言っていた東海さんでした。次回は11月19日の三田会との合同コンペになります。金子 孝司 記

## <野球早慶戦観戦部会> 10月28日(日)

絶好の野球観戦日和だった10月28日(日)第2戦を観戦しました。参加者は春参加の川上さん・黒坂さん・私の3名に加え、久しぶりに観戦とおっしゃる村野さん・早慶戦7連勝中とおっしゃる高橋さんの計5名。10時30分に東久留米駅集合で国立競技場前駅へ。1,300円也の一般内野席に陣取って、各自準備の昼食を取って試合開始を待ちます。持参のビール・日本酒・焼酎もお腹に入れて次第に気分高揚。

試合は1点先行され、追いつき、2点取られ、5点取って逆転し、8回・9回に1点ずつ取られつつも9回表二死ランナー2・3塁で一打逆転というピンチを今西当投手の気迫の投球でかわして6対5で勝利。両軍打撃好調で(当方14本、相手12本)、見応えのあるナイスゲームでした。

試合後慶応のレプリカユニフォームを何とか入手したいと切望されている黒坂さんと球場で別れ、4人で東久留米へ戻って祝杯をあげました。やはりスポーツは現場観戦に限ると実感します。テレビでは感じられない空気感や音を味わう事が出来ます。来春多くの方が参加して下さいと嬉しいと存じます。尚、4名乃至5名参加して戴けるとファミリーシートなるボックス席が利用出来ます。料金一人当たり1,700円とちょっと割高ですが、神宮の内野席はやや狭いので、ボックス席はかなりゆったり観戦出来るように思います。来春も高橋さんが参加して下さいと母校の連勝がまだまだ伸びるかも。

山口 謙二 記



## 部会だより

### <ウォーキング&山歩き部会>

○ウォーキング & 山歩き(第69回) 高尾山をケーブルカーで登り、尾根道を歩き、城山を経て小仏峠を下りる。

◎歩く負荷は、比較的軽く、日頃山歩きなどしない方も大丈夫。

日時：11月26日(月) 7時40分東久留米駅改札口集合(東久留米7:53発に乗車)

★下見前の為、計画変更がありえる。(インターネット・メールで連絡し、ホームページにも掲載)

\*雨天の場合、対応はご相談する。(翌日実施 or 1週間延期 or 取り止め)

○ウォーキング & 山歩き(第70回) 秩父 宝登山にて蝸梅鑑賞(今2月、大雪の為に中止となったが再挑戦)

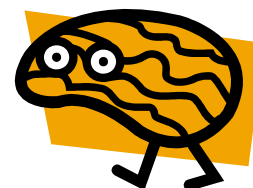
日時：2月4日(月) \*詳細は次回の東稲ニュース。

○ウォーキング番外篇 「甲州街道を歩く」

第11回【JR石和温泉駅→JR竜王駅(又は塩崎)】 14km~16km

日時：11月5日(月) 6時50分 東久留米駅改札口集合

\*前回と同じ集合時間、同じ電車。



第12回【JR 竜王駅（又は塩崎）→未定】 14 km～16 km  
日時：12月10日（月） 集合時間未定、東久留米駅改札口集合



【これまでの実績】

- 第1回 10月23日（月）内藤新宿（新宿三丁目） ➡ 調布 行程 16.1 km  
第2回 11月27日（月）調布 ➡ 日野 行程 14.3 km  
第3回 12月18日（月）日野 ➡ 小仏 行程 16.7 km  
第4回 ~~1月22日（月）小仏峠越え~~ ☆悪天候予報により中止  
第4回 2月19日（月）与瀬（相模湖駅） ➡ 上野原 行程 10.7 km（上野原駅+1.5 km）  
小仏峠の残雪により、1区間を先行して実施  
第5回 3月19日（月）小仏峠越え 行程 7.7 km  
第6回 4月16日（月）上野原から鳥沢駅 行程 14.6 km  
第7回 5月21日（月）鳥沢駅から猿橋、大月、初狩駅 行程 13.6 km  
第8回 ~~6月18日（月）初狩駅から白野、阿弥陀街道、新田バス停~~ ☆降雨の為、途中で中止  
第8回 7月9日（月）初狩駅から白野、阿弥陀街道、新田バス停 行程 8.4 km  
第9回 ~~8月6日（月）新田下バス停から笹子峠を越えて➡甲斐大和駅~~ ☆猛暑の為中止  
第9回 9月10日（月）新田下バス停から笹子峠を越えて➡甲斐大和駅 行程 10.4 km  
第10回 10月15日（月）甲斐大和駅➡勝沼➡石和温泉 行程 17.1 km

東海 俊孝 記

＜映画鑑賞会＞ 11月29日（木）14時～於：成美教育文化会館

「道」 1954年 イタリア フェデリコ・フェリーニ監督

戦後イタリアは撮影場所の戦禍を逃れたが国は疲弊し、制作資金面で苦勞した。そこで市街地に出て映画を実写で撮り始めた。これが映画史に残るイタリアン・ネオ・レアリズム運動であった。その旗手はロッセリーニであり、Vデカーシであった。フェデリコ・フェリーニはその二人の影響と指導を受けて

独自の映画の世界を切り拓いた。その初期の代表作が「道」である。

物語は肉体の情欲しか持てないような粗野な大道芸人ザンパノは白痴で純粋無垢なジェルソミーナを一万リラで買う。旅から旅への二人の生活を通じて人間のエゴと魂の覚醒を描くフェリーニの名作。置き去りにした女の死を知り、夜の浜辺で号泣するラストシーンが余りにも有名。

甘く哀切な音楽はニノ・ロータ

アカデミー外国映画賞、ベネチア映画祭サンマルコ賞、

1960年キネマ旬報外国映画部門第一位、米光慶二郎 記



＜書道部会＞ 書道部小作品展

来る12月9日（日曜日）書道部の面々が、最近書いた各自の「座右の銘」を発表する小作品展を開催します。書に興味のある方も、全くない方も、気楽にお立ち寄り下さい。時間は14時～17時まで。この時間帯であれば何時でも結構です。是非お出かけ下さい。

日時：12月9日（日）14:00～17:00

会場：東久留米生涯学習センター 2階 第4学習室

小野 泰右 記





---

## <カラオケ部会> 12月25日(火) 「カラオケを楽しむ会」

1. と き : 12月25日(火) 午後6時30分
2. と ころ : オンチッチ
3. か い ひ : 4,000円
4. 連絡先 : 高柳康夫 TEL/FAX : 042-473-3559  
携帯 : 090-8741-8424  
E-mail : y-takayanagi@watch.ocn.ne.jp



カレンダーも残すところあと僅かになりました。今年は、例年になく、地震や豪雨などの自然災害が頻発し、ストレスは溜まる一方です。こんなときには、日ごろのことはさておいて、気の置けない仲間と「ご発声」に励んでスッキリした気分になり、明日への英気を養ってはいかがでしょうか。ご都合のつく方のお運びをお待ちしています。 高柳 康夫 記

## <諸芸術鑑賞部会> 「ニューイヤーコンサートのご案内」

早稲田大学交響楽団によるニューイヤーコンサートが来春も開催されます。今年、大好評だったソリストによるオペラの歌唱共演も行います。但し来春は東久留米稲門会の新年会と重なりますが、終了後に出かけても充分間に合います。席の都合もあります、早目の申し込みをお願いします。

記

日 時 : 平成31年1月19日(土曜日) 開場 16:30 開演 17:00  
会 場 : 練馬文化センター  
指定席 : 1階席及び2階席前方 全 1056席 3,500円  
自由席 : 2階席 全 340席 2,000円  
申し込み先 : 電話 : 042-478-3953 携帯 : 090-7251-0648 小野まで



小野 泰右 記

---

## 東稲広報室

### <秋の旨いもの会 特別会計収支報告>

10月20日(土)開催の「秋の旨いもの会」の収支は以下のとおりでしたので報告します。

[収入] 会費…89,000円(会員29名+1,000会費2名)

[支出] 飲食費…76,436円 会場費(什器・備品含む)…12,600円 雑費…12,960円

[収支] 12,996円の不足…本会計「イベント補助金」から補填しました。 会計 : 清水 正弘

### <稲門祭記念グッズ抽選結果> (敬称略させていただきます)

「職域特選賞」蒲田切子 : 2871 東海俊孝、「早稲田カード賞」三井住友カードVISAギフトカード : 2858 酒巻千賀、「職域賞」(下2桁番号 01, 72) : 小野泰右、東海俊孝、山岡恭子、「校友会賞」(下1桁番号 2)リポビタンファイン1本 or マーケットオーリアルブラウニービック(洋菓子)1個 : 安次峰暁、伊東毅、小野泰右、金子孝司、高橋哲男、松崎博、山口謙二、渡辺真司

今年は計13本当選でした(因みにお買い上げ総数105本)。残念ながら選に漏れた皆様、ご購入のご協力有難う御座いました。皆様のご厚意は奨学金として後輩達に大いに貢献しています。

稲門祭担当 中村 敏明、山口 謙二

### <Table For Children>

9月13日 滝山子供食堂に、皆様からお預かりした寄付金¥5,000をお届けいたしましたので、ご報告いたします。 河村 洋子

## 茶 道 一 考

上田 敦嗣 (59年 文)

茶道(流派は裏千家)を始めて既に6年を過ぎようとしています、最近茶道を通して得たものについていくつか話してみようと思います。

まず、「礼を重んじる」ということであります。茶道の先生は常日頃「礼に始まって礼に終わる、これが茶道の精神です」と説いていますが、私自身今まで「礼」というものを考えたことがありませんでした。学生時代、あるサークルの納会で美人の先輩の彼女にちょっかいを出し、その場で幹事長に腕をつかまれ裏に連れて行かれ「今日限り内のサークル辞めてくれ!」と言われ、アルバイト先の社長から「お前態度がでかいんだ!」と怒鳴られ、はたまた職場の上司から「君!もうちょっと神経を使いたまえ!」とたしなめられた経験があります。これらはひとえに、常に相手の事を考えない自己中心的な考えの賜物であります。礼節を重んじる事により、自分が相手に対して先に踏み込むのではなく、相手と自分との間に一定の距離を保ち、何かトラブルが生じたら、まず一步下がって自分から頭を下げる、正にこの精神であると思います。それは西鉄ライオンズの中西太が座右の銘とし、早稲田精神の原点でもある「実るほど頭の垂れる稲穂かな」の言葉に繋がるものと確信しています。

次に「無の境地」であります。茶道は何百回、何千回と同じ稽古を繰り返す事により、茶道の「型」を体得するものです。落合博満氏の常套句である、「俺流でやる」は絶対に通用しないということです。自己流にやるとその場しのぎとなり見た目はうまくいっているようですが将来絶対に伸びない、必ずどこかで行き詰る、逆にたとえどんなにうまくいかなくとも、思うように行かずやしい思いをしても、教えられた「型」を教えられたように寸分違わずしなくてはいけない(当たり前前の事なのですが、人間自我がある限り、この当たり前前の事が簡単には出来ないのが実状です)、そのためにはどうしたらいいか、既存の自己の考えを一切捨て「無我」の境地になりひたすら教えられた「型」を無心になって身に付ける、この一点にあります。かつて西鉄ライオンズの稲生和久投手が三原監督に連投を命じられ、あれだけ酷使されながらも、只一言「愚直になる」と言い切った様に、西田幾太郎の思想の原点である「無」になり相手を素直に受け入れ評価する事こそ、自分というものが相手の中で改めて生かされ、それに伴い新たな自己が確立されるという事です。実は小生、学生時代、ある女子大生と交際しており、ある時「上田君って本当に自分勝手な人ね!上田君は我が強すぎるのよ!」と言われて物の見事に振られた経験を持っていますが、この事は「俺に合わせない方が悪い」という、今まで自分の内部に巣くっていた自分本位の考えに由来するものと痛感しています。

最後に茶道の合理性にあります。小生、茶道を始める前は、とかく日本の諸芸術は感性に訴えるものであり、理にかなったものではない、合理性とは程遠いというのが私の先入観でありましたが、茶道の所作一つ一つ見てこんなに理にかなったものはない、茶道具の置き方、扱い方、動き方には全て必ず意味を持っている、ちゃんとした意味があり理由があるからこういう動きをするという事を思い知らされ、併せて日本の諸芸術は皆それなりの意味を持つ合理性に富んでいる事に気付かされました。そして合理的な茶の稽古を通して私は時間の有効性及び効率性の重要性を強く認識しました。今まで私自身、時間の無駄遣いという事が多々あり、何気なくその日暮らしをしていた時期がありましたが、今日一日24時間、一年365日を有効に無駄なく(もちろん無理なく)使えるよう心掛けて日々充実した生活を送っているこの頃であります。

以上、三点述べてまいりましたが、茶道をやって本当に良かった、これから先も茶道を長く続けて行こうと心から思う毎日であります。(了)

---

### <編集後記>

9月末で仕事を卒業、自由の身に。時間が出来たらあれもこれもと考えていたが中々進まず歯痒い。身体も頭もやはり年相応。あまり欲張らずにとの忠告に納得。大病克服後の藍原さんに10月末、今年のプロセダラグビーの状況と展望を寄稿頂いた。正月まで行けそうとの藍原予想。帝京には残念ながら負けたが、今後慶応、明治には何とか勝って選手権に進み、準決勝まで残ってほしい。駅伝含め正月2日には祝杯を挙げたい。(朋)

---